

# FURUTECH

## Review

### Audio Accessory ケーブル大全—2019 - JAPAN



## 立体的なエネルギーバランスで

超低温処理に基づく独自のa-導体を、さまざまな用途のケーブルに展開するフルテック。Ag-16フォノケーブルシリーズも、同社のそぞうした取り組みをいつそう強固にするラインアップといえる。Ag-16シリーズは、純銀コーティングa-OCC導体に超低温処理のProcessを施した芯線材の採用がトピック。ケーブル自体は非常に柔らかく仕上げられており、取り回しがしやすいものも。また5PI-NのDINプラグ接点部は、焼青銅に直接ロジウムメッキを施している点が見逃せない。RCAプラグは、a-OCCにロジウムメッキ処理だ。なお、ラインアップはDINプラグとRCA端子という汎用的なものの他に、クリアラシスの狭いキャビネット等で重宝なし型DINタイプ、さらにRCA出力の3タイプが揃う。長さはいずれも1.1m。ジャケットは鮮やかなブルーのメッシュである。

一聴して分かるのは、フルテックのエネルギーバランス。偏った帯域がなく、声や楽器のバランスが非常に素直だ。加えて、音場感がとても立体制的である。ステレオイメージがゆつたりと広がるように聴こえ、音像の前後の距離感が明瞭に感じられた。(小原由夫・アナログ56)



FURUTECH

### Ag-16

フォノケーブルシリーズ  
DIN-RCA=¥93,000(1.1m)  
※DIN端子はL型とストレートあり  
RCA-RCA=¥98,000(1.1m)

**SPEC** ●導体:a-導体(純銀コーティングa-OCC)●3層シールド構造●DINプラグ:非磁性体リン青銅+ダイレクトロジウムメッキ●RCAプラグ:a-OCC+ロジウムメッキ●XLR-DINもラインアップ●取り扱い:フルテック(株)

### 取り回しやすいハイCPモデル 音の芯とエネルギー表現が卓越

#### 注目のポイント

ブックシェルフスピーカーにも装着しやすく、ワングレードはスピーカーのクオリティが上がる。

#### SPEC

●導体:a-導体(a-OCC)●絶縁材:オーディオグレード特殊PVC●スリーブ:RoHS指令適合ナイロン糸編組●長さ:20cm●取り扱い:フルテック(株)

### 林 正儀

Masanori Hayashi  
(AA164号)



### ジャンバーケーブル JUMPER CABLE

FURUTECH

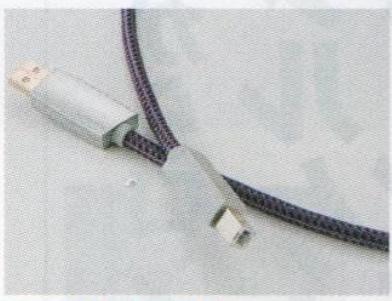
¥19,800

Yラグ仕様(-S),  
バナナ仕様(-B)とともに4本

### Jumper-S/Jumper-B

これはFUXジャンバーよりも柔軟でとりまわしがよい。サウンドも実際にニュートラルでクセがない。ジャンパーの性能がそのまま色や濁り、うねりのない、ストレートで高鮮度な音楽伝送につながっているのだ。見た目は細いが、音の芯とエネルギー表現は上位に迫る。ジャズは高速レスポンスで密度を高め、クラシック系の倍音、空間のみずみずしさも聴覚を満足させれる。CPのよさは特筆なのだ。

フルテックのジャンパー線はハイエンドなFUXシリーズ(3万8000円)があるが、それよりも細くて安いバージョンだ。導体は同じくa処理のOCC銅線で導体本数を減らし、あわせてロジウムメッキの端子パツも市販品のFP-20を改良。被覆はPEではなくオーディオグレードPVC樹脂を採用。丈夫なナイロン系編組のスリーブで覆い、信頼度の高いものだ。



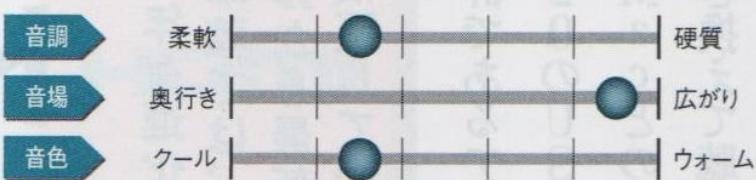
## FURUTECH GT2Pro USB Cable

¥18,000 (税別／1.2m)  
※ 5.0mまでラインアップあり

**Spec** ●導体 (信号線):  $\alpha$  (Alphah) -OCC 素材+純銀の銅銀合金線材 ●取り扱い: フルテック(株)

### 奥行きや音場の広がり感が忠実に再現

信号線は $\alpha$ -OCCと銀の合金線、電源線は銀メッキ $\alpha$ -OCC導体を採用、信号線は特殊なPE、電源線はPVCで絶縁されている。両端プラグは金メッキだ。クラシックは大きな器で余裕を持って鳴らしているような鳴りっぷりの良さが素晴らしい。ジャズは僅かにマイクから距離を取ったような奥行き感を味わわせる。音場は左右方向への広がりが特に大きく、空間成分はかなり濃厚だ。ポップスは潤いの乗った"美味しい"声が実にいい。



## FURUTECH Evolution Digi II

¥25,000 (税別／1.2m)

**Spec** ●導体:  $\alpha$  - 導体 ●取り扱い: フルテック(株)

### 響きが美しく音像の彫りが深い

クライオ処理したOCC導体に絶縁体はテフロン。端子には制振金属が使われている。基本的にはアキュレートで情報量の多い方向性だ。ただし、透明感が高い一方、音の色彩感に優れている。最低域は締まって剛性感が高く、高域には若干の強調感があるが、それが響きの美しさにつながっている。各音像の彫りが深く、独立して定位。前後の描き分けや空間表現力もしっかりしている。

